

Vol. 78

CONTENTS

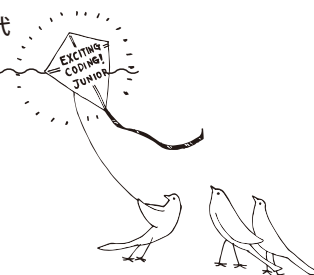
【コラム】小学生向けのプログラミングセミナー Exciting Coding! Junior… 北村 操代

【解説】Exciting Coding! Junior 2017 実施報告 … 吉田 葵

【解説】学びに向かう力を引き出す加速学習を取り入れた授業デザイン … 須藤 祥代

COLUMN

小学生向けのプログラミングセミナー Exciting Coding! Junior



ICT 技術を活かして日本が世界をリードしていける人材の育成を目的として、文部科学省で初等・中等教育での段階におけるプログラミングに関する教育の充実が議論されてきました。そして、2020 年から小学校の情報教育でプログラミング教育が必修化される見込みです。小学生向けのプログラミング教育を提供する私塾も多数出てきています。

ここでのプログラミング教育は、プログラミングの考え方等を理解することが狙いで、単に特定の言語でプログラムを書ければよいというものではありません。子供たちが創意工夫しつつ、しかも楽しく、自ら学んでいくことが必要だと考えています。翻って、本会は情報処理と情報教育に関する専門知識を持った人材の宝庫です。この狙いに相応しい「何か」を提供できるはず、いや、そういう役割を社会から期待されている、使命があると考えました。

そこで、本会の1つの取り組みとして、Exciting Coding! Junior というプログラミングのセミナーを2016年からセミナー推進委員会主導で開催しています。小学4年生から6年生までのジュニア会員と保護者30組を対象としています。Scratch の使い方から、自分でアイデアを出してアニメーションやゲームを作り、その成果を発表会で紹介するまでを、半日かけて行います。

2017 年は9月16日に開催しました。中には結構良いゲームを作る子もいて、「とても楽しかった」「ゲームを作れたところが楽しかった」など参加者に好評で、保護者の方々からも「大変有効であった」などのお声をいただきました。

これまでは東京近郊で年1回しか開催できていないのですが、今後は地域を広げていきたいと考えています。そのため、開催地と運営の仕組み、どのプログラミング言語を使えばよいかなどについて議論してきました。そして、講師数を増やすことや基本パッケージとして整えることも考慮して開催しました。講師を増やすことを目指して、午前中に講師向けのセミナーも行いました。開催地の拡大については、支部との連携を模索しています。

小学校の先生方は、近い将来実際に教えないといけなわけですが、この講師向けセミナーも活用していただけるのではと考えています。そのためには、学校が休みの日でないと参加できないといったことなども分かってきました。これから、先生方にも参加しやすい活動にして、ゆくゆくは初等・中等教育に携わる先生方の人脈作りにもつないでいきたいと考えています。

北村操代 (三菱電機 (株))